

令和3年開成町議会10月随時会議 会議録（第1号）

令和3年10月14日（木曜日）

○議事日程

令和3年10月14日（木） 午後2時00分開議

日程第 1・会議録署名議員の指名

日程第 2・議案第47号 令和3年度開成町一般会計補正予算（第4号）

○本日の会議に付議した事件

議事日程に同じ

○出席議員（12名）

1番 下山千津子	2番 佐々木昇
3番 武井正広	4番 前田せつよ
5番 茅沼隆文	6番 星野洋一
7番 井上三史	8番 山本研一
9番 石田史行	10番 井上慎司
11番 湯川洋治	12番 吉田敏郎

○説明のため出席した者

町 長 府川裕一	副町長 加藤一男
教 育 長 井上義文	企画総務部長 小宮好徳
町民福祉部長 亀井知之	兼財務課長 小宮好徳
都市経済部長 井上新	町民福祉部参事 渡邊雅彦
兼環境上下水道課長	兼福祉介護課長 遠藤孝一
学校教育課長 岩本浩二	教育委員会事務局参事

○議会事務局

事 務 局 長 田中栄之書	記 佐藤久子
---------------	--------

○議長（吉田敏郎）

皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員は１２名です。定足数に達しておりますので、これより令和３年１０月随時会議を開催いたします。

午後２時００分 開議

○議長（吉田敏郎）

１０月随時会議の議事日程（案）につきましては、本日開催されました議会運営委員会において決定されたものです。

お手元に送付のとおりで、御異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（吉田敏郎）

御異議なしと認め、１０月随時会議の議事日程につきましては、議事日程表のとおりと決定いたしました。

なお、本随時会議においては新型コロナウイルス感染防止のためマスクの着用と、着座での発言を許可しております。

それでは直ちに日程に入ります。

日程第１ 会議録署名議員の指名を行います。開成町議会会議規則第１２２条の規定により、議長において、１１番、湯川洋治議員、１番、下山千津子議員の両名を指名いたします。

日程第２ 議案第４７号 令和３年度開成町一般会計補正予算（第４号）を議題といたします。

予算書の説明を順次担当課長に求めます。

企画総務部長兼財務課長。

○企画総務部長兼財務課長（小宮好徳）

それでは議案を朗読いたします。

議案第４７号 令和３年度開成町一般会計補正予算（第４号）。

令和３年度開成町の一般会計補正予算（第４号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第１条第１項、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ１，３５５万６，０００円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ７０億６，１３１万５，０００円とする。

第２項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表 歳入歳出予算補正」による。

令和３年１０月１４日提出、開成町長、府川裕一。

それでは今回の一般会計補正予算（第４号）の概要等について御説明させていただきます。

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症に伴う本町独自の支援策、また町民センター内部改修工事費を追加するため、一般会計補正予算（第４号）を編成させ

ていただきました。

それでは4ページになります。御覧いただきたいと思います。

第1表、歳入歳出予算補正です。

歳入になります。14款国庫支出金、補正額の合計額1,355万6,000円です。

歳出になります。2款総務費から13款予備費まで、補正額は同額の1,355万6,000円となります。

歳入歳出とも合計額は70億6,131万5,000円となります。

それでは、補正予算の詳細につきまして、歳入歳出事項別明細書により御説明をいたします。10ページを御覧いただきたいと思います。

まず、歳入になります。14款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、12節地方創生推進交付金、説明欄が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1,355万6,000円でございます。地方創生臨時交付金は新型コロナウイルス感染症対応のために交付されるものでございます。

続きまして11ページを御覧いただきたいと思います。歳出となります。

○教育委員会事務局参事（遠藤孝一）

2款総務費、1項総務管理費、8目町民センター管理費の町民センター管理費について、若干説明させていただきます。

町民センター等内部改修工事での主な変更内容は、安全対策としてアスベスト撤去処分等、防犯カメラ配線及び個別電源設置工事、1階のエントランスホールの排煙窓ダンパー交換、機能強化として3階の車椅子トイレ出入口扉等設置、その他といたしまして漏水対策工事、1階エントランスホール、2階サポートセンターの床の補修。

これら改修工事を行う結果、契約額が2,827万円から変更契約額3,313万8,000円となりまして、当初契約額から486万8,000円の増となります。執行残が336万8,000円となっていますので、今回150万円の不足分を補正させていただくものです。

○都市経済部長兼環境上下水道課長（井上 新）

続きまして、4款衛生費、1項保健衛生費、3目環境衛生費、説明欄で地球温暖化対策推進事業費、ゼロカーボンシティ創生事業補助金200万円増と。こちらは先ほど歳入のほうでございました新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用いたしまして行う事業でございます。

こちらはコロナ禍によりインターネットショッピングの利用が増え、宅配業者の再配達が社会的な問題として顕在化しております。再配達の削減による自動車の温室効果ガスの削減やコロナリスクを低減させる非接触による荷物の受け取りが可能となることから、町民等が自宅に宅配ボックスを設置する費用を助成していこうという形で組んでおります。

以上です。

○企画総務部長兼財務課長（小宮好徳）

続きまして、6款商工費になります。1項商工費、2目商工振興費174万5,000円でございます。こちらは財源更正となります。

こちらは一般会計補正予算（第1号）でプレミアム付き商品券事業の財源内訳として、地方創生臨時交付金と一般財源を充当してございました。今回一般財源分174万5,000円を地方創生臨時交付金に財源更正するものでございます。

○学校教育課長（岩本浩二）

続きまして9款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、説明欄校務用パソコン管理費になります。こちらにつきましては教室の分散化や遠隔事業の実施によります家庭との双方向学習の充実から、児童・生徒の安心安全と学習機会の確保を両立するための環境整備を行うものでございます。

まず需用費、消耗品費175万円でございます。こちらはオンライン授業などに幅広く対応するため、全普通教室用カメラ及びマイク、各50台を購入するものです。

続きまして備品購入費697万3,000円、うち電子黒板購入費484万4,000円につきましては今年度2学期から全普通教室に配備をいたしました電子黒板50台に加えまして、文命中学校の特別教室用5台、令和4年度から開成南小学校及び文命中学校で1クラスずつの増加に対応するための2台、計7台を追加購入するものでございます。

続いてタブレット型パソコン購入費212万9,000円につきましては、当初1人1台端末の導入時におきまして、転入や故障対応時等に使用する予備台数を50台用意しておりましたが、現在予備台数が3台のみとなり、転入等による児童生徒の増加傾向がいまだに見られることから、今後も様々な状況において子供たちの学習に支障が出ないように、導入時の予備台数程度追加購入するものでございます。

続きまして新型コロナウイルス感染症緊急対策事業費、手数料108万8,000円になります。感染症予防の観点から昨年度に引き続き修学旅行を中止することが決定したことから、小学校2校の児童・教員197人及び中学校の生徒・教員166人分の旅行企画料と旅行会社へのキャンセル料を負担するものでございます。

○企画総務部長兼財務課長（小宮好徳）

それでは13款予備費でございます。今回の補正による歳入歳出の差額を予備費24万5,000円の増により調整をいたします。

説明は以上です。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

3番、武井です。

今回、先ほど部長が話をされて、新型コロナウイルス感染症対応の本町独自支援という中で1,300万超えの予算を組まれたということで、最初はもっとあるんじゃないかな、というふうにも思っていたんですが、先ほど学校教育の部分でオンライン

授業を進めるためにカメラ等、全教室につけていくんだと、すごくいい取組だと思います。ぜひ進めていていただきたいと思うんですが、一方ちょっと説明をもう1回伺いたいんですが、環境衛生費のところで、ゼロカーボンシティ創成事業費200万があるんですが、これが宅配ボックスということなんですけれども、例として宅配ボックス自体が幾らぐらいするもので、1台当たりどのくらいの補助を考えられているんでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

都市経済部長。

○都市経済部長（井上 新）

武井議員の御質問にお答えをいたします。

全国的な例を見ますと様々なところで取り組まれている例がございます。宅配ボックスも様々な形態がございますして、簡易的に設置できるものから設置費用の伴うものまで、一般的なのがどういったものなのかというところがあるかと思うんですけれども、固定式で業者さんに設置をしてもらうとか、そういったところまでいきますと10万円を超えるようなものまであるというふうに聞いております。そうすると、どこまで補助をしていくか、それが1点ございますけれども、全国的な例を取り上げながら、おおむね補助対象の2分の1で最高で3万円ぐらいを上限に考えていったらどうだろうといったところを今主眼に置いております。

細かく分析しますと、個別住宅だけでなく集合住宅という場合もありますので、そちらの想定をされているところもあるというふうに聞いておりますし、そういったところをつぶさに研究して最終的に要綱決定をしていきたいというふうに思っておりますので、今のところ上限3万といったところを検討している、そういったところでございます。

○議長（吉田敏郎）

よろしいですか。

ほかに質疑ございませんか。

2番、佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

2番、佐々木昇です。

今の質問に関連してですけれども、ちょっと確認させていただきたいんですけど、といいますと一応予算的には200万円ということで、具体的な今後の取組についてはまだ決まってないということでよろしいのか、その辺の確認と、もしそうであれば今後どのような予定で実際にこれ、この補助金への取組、取り組まれるのはいつ頃を考えられているのか、その辺ちょっとお伺いしたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

都市経済部長。

○議長（吉田敏郎）

都市経済部長。

○都市経済部長（井上 新）

佐々木議員の御質問にお答えをさせていただきます。

スケジュール的なところが1つポイントとしてあろうかと思うんですが、こちらのほうでゼロカーボンシティ創生事業補助金というものが既にございますので、こちらのほう要綱改正をしながら、宅配ボックスの助成を追加でやっていこうという形で、改正を行ってすぐに町民の皆様にPRをし、取り組んでいきたいという形で考えてございます。

それと、ちょっと先ほど曖昧な言い方をさせていただいたんですが、今考えているのが戸建住宅、戸建住宅でも新築の場合と既存住宅の場合があったりとか、あと集合住宅においても新築と既存の場合、それぞれつぶさに研究してまいりますと微妙にその辺、対象を変えないといけないというようなところが見えておりますので、そのところは個別に研究をさせていただいて最終決定をしていきたいというふうに思っておりますので、今回交付金として緊急に頂いているお金ですので、すぐにそういったところをつぶして対応してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

よろしいですか、佐々木議員。

ほかに質問、質疑、よろしいですか。

10番、井上慎司議員。

○10番（井上慎司）

10番、井上慎司です。

当初の説明で宅配ボックスということでお話があったんですが、新築住宅にも対応するというようなお話の中では、宅配ロッカーのようなものを建物にもう据えつけてしまうような部分に関しても想定はされているのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

都市経済部長。

○都市経済部長（井上 新）

井上議員の御質問にお答えをさせていただきます。

井上議員の御質問のとおり、いろんなケースが想定されておりますので、そういったところを最終的には詰めないといけないというふうに思っております。宅配ボックスといっても、今先ほど、一番最初にお話をさせていただいたんですが、ボックスでなくても折り畳み式のものでコンパクトにするタイプもあるというふうに聞いておりますし、そちらのほうの対象をどこまで認めていくか。最終的な詰めはございますけれども、そういったところも十分検討した上で考えていきたい。補助率は2分の1で、上限は3万円までといったところをお知らせをさせていただいたというところでございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

5 番、茅沼議員。

○5 番（茅沼隆文）

5 番、茅沼です。

今回のこの補正予算について、ただいまの答弁をお聞きしていると、どうも中身が全く煮詰まっていないような印象を受けました。教育関係のほうでは具体的に何が何台、どこそこに、というふうな報告があったので、これはこれで分かるんですが、そもそもこの1, 355万6, 000円の国庫支出金、これは町からの要望ではなくて国のほうからこれだけ予算が充当されるというふうな案内があったんだらうと思うんですが、この件についてはたまたま棚からぼた餅みたいにして来たので、じゃあこれは取りあえずこういうふうにしてあてがっておこうと、こんなふうにしか見えない。従来の予算編成の補正予算等々ではもうちょっと具体的に使い道がしっかり分かった上で、議会に上程されてきているというふうに理解しておりましたけれど、今回の話では先ほどの同僚議員の質問でもありましたように、まだ全く具体的なのがスケジュール的にも決まっていない。こういう状態で国のほうにどのような返事をされるのか甚だ疑問に思うのですが、その辺のところはしっかりいつ頃までにどういうふうにされるのか、もしあればしっかりと説明いただきたいのですが。

○議長（吉田敏郎）

都市経済部長。

○都市経済部長（井上 新）

大変失礼をいたしました。

細かな最終的なところのお話をさせていただいたので、煮詰まってないというような印象をお与えしているというのは大変申し訳ございませんけれども、想定件数であったりとか、そういったところは事前に想定をしておりますして、戸建住宅、新築と既存、こちらのほうを50件程度、それと集合住宅であったりとか、そういったところの想定はさせていただいているところでございます。

こちらのほうはお認めいただきましたら、要綱決定をして公布の日からすぐにその辺はPRをしてまいりたいというふうに考えておりますので、大変申し訳ございません。

○議長（吉田敏郎）

5 番、茅沼議員。

○5 番（茅沼隆文）

5 番、茅沼です。

3万円上限というのと200万円、計算すれば六十数件の対象になるわけですが、いずれにしても200万、国庫から出るといってもいずれは国民の税金、ひいて言えば我々の税金ですので、きっちりと使い道をしっかりした上で、できる限りしっかりした上で議会のほうに上程していただきたいと、こんなふうに思いますので、よろし

くお願いします。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

ほかに。

4 番、前田議員。

○4 番（前田せつよ）

4 番、前田せつよでございます。

ただいまの同僚議員の質問に関連して 1 点だけ確認させてください。今御説明のほうでは要綱も含めて様々な想定をしながらという中で、想定的事例も幾つかお話があったわけでございます。その中で 1 点だけ、例えばもう既に宅配ボックス、宅配ロッカー等々を既に据えつけてあるんだけれども、経年劣化ですとかバージョンアップしたいとか、そういう方々に対しての対処についても十分今後煮詰める中に、その案件も含まれているのかいないのか、この 1 点だけ確認させてください。

○議長（吉田敏郎）

都市経済部長。

○都市経済部長（井上 新）

今回の案件につきましては、年度途中で緊急に始めるという形もございますので、想定といたしましては今年度の 4 月 1 日以降に設置をされたものも含めて、対象としてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」という者多数）

○議長（吉田敏郎）

ないようですので、続いて討論を行います。

討論のある方いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（吉田敏郎）

討論がないようですので、採決を行います。

議案第 47 号 令和 3 年度開成町一般会計補正予算（第 4 号）について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。それでは採決を締め切ります。

（賛 成 全 員）

○議長（吉田敏郎）

採決の結果、賛成全員によって可決いたしました。

以上をもちまして、本 10 月随時会議に付議された案件の審議は全て終了いたしました。これにて散会をいたします。

皆様、大変お疲れさまでした。

午後 2 時 2 3 分 散会

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証する。

開成町議会議長

会議録署名議員

会議録署名議員